安全データシート

Agilent Technologies

Gas Clean Filter Kit for TCD, Part Number CP738408

1. 化学品及び会社情報

この製品は、商品と見なされます。この安全性データシートは、この商品に含まれるカプセル化された物質または混合物に基づいて記述されています。

化学品の名称	:	Gas Clean Filter Kit for TCD, Part Number CP738408
品番（化学検査キット）	:	CP738408
部品番号	:	Gas Clean Filter Oxygen　CP17970 Gas Clean Filter Moisture　CP17971
供給者/ 製造者	:	会社名 アジレント・テクノロジー株式会社 住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1 電話番号 +81-42-660-3111
緊急連絡電話番号（受付時間）	:	CHEMTREC®: +(81)-345209637
化学製品の推奨される用途	:	分析化学。 Gas Clean Filter Oxygen　1 x 200 ml Gas Clean Filter Moisture　1 x 200 ml

2. 危険有害性の要約

この商品は、適切な条件下で、使用上の指示に従って使用すれば、健康上有害にはなりません。物質または混合物は、商品の中ではカプセル化されています。製品の使用上の指示に従わずに商品を使用したり処理したりした結果放出された場合にのみ、健康上および安全上有害になる可能性があります。

GHS 分類

Gas Clean Filter Oxygen

H317	皮膚感作性 - 区分1
H341	生殖細胞変異原性 - 区分2
H350	発がん性 - 区分1A
H371	特定標的臓器毒性（単回ばく露）- 区分2
H335	特定標的臓器毒性（単回ばく露）（気道刺激性）- 区分3
H372	特定標的臓器毒性（反復ばく露）- 区分1
H401	水生環境有害性　短期（急性）- 区分2
H411	水生環境有害性　長期（慢性）- 区分2

Gas Clean Filter Moisture

H341	生殖細胞変異原性 - 区分2
H350	発がん性 - 区分1A
H373	特定標的臓器毒性（反復ばく露）- 区分2

Gas Clean Filter Moisture　水生環境有害性が未知である成分からなる混合物中の濃度割合：82.3 %

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル : Gas Clean Filter Oxygen

Gas Clean Filter Moisture

注意喚起語 :

Gas Clean Filter Oxygen	危険
Gas Clean Filter Moisture	危険

2. 危険有害性の要約

危険有害性情報	: Gas Clean Filter Oxygen	H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H335 - 呼吸器への刺激のおそれ H341 - 遺伝性疾患のおそれの疑い H350 - 発がんのおそれ H371 - 臓器の障害のおそれ (呼吸器系、全身毒性) H372 - 畏期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害 (肺、神経系、呼吸器系) H411 - 長期継続的影響によって水生生物に毒性
	Gas Clean Filter Moisture	H341 - 遺伝性疾患のおそれの疑い H350 - 発がんのおそれ H373 - 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害の おそれ (免疫系、腎臓、呼吸器系)
注意書き		
安全対策	: Gas Clean Filter Oxygen	P201 - 使用前に取扱説明書を入手 すること。 P202 - 全ての安全注意を読み理解 するまで取り扱わないこと。 P280 - 保護手袋, 保護衣及び保護眼鏡又は保護面を着用すること。 P271 - 屋外又は換気の良い場所で だけ使用すること。 P273 - 環境への放出を避けること。 P260 - 粉じんを吸入しないこと。 P270 - この製品を使用するときに, 飲食又は喫煙をしないこと。 P264 - 取扱い後はよく洗うこと。 P272 - 汚染された作業衣は作業場 から出さないこと。
	Gas Clean Filter Moisture	P201 - 使用前に取扱説明書を入手 すること。 P202 - 全ての安全注意を読み理解 するまで取り扱わないこと。 P280 - 保護手袋, 保護衣及び保護眼鏡又は保護面を着用すること。 P260 - 粉じんを吸入しないこと。
応急措置	: Gas Clean Filter Oxygen	P391 - 漏出物を回収すること。 P308 + P311 - ばく露又はばく露の懸念が ある場合: 医師に連絡すること。 P304 + P340, P312 - 吸入した場合: 空気の新鮮な 場所に移し, 呼吸しやすい姿 勢で休息させること。 気分が悪い時は医師に連絡すること。 P362 + P364 - 汚染された衣類を脱ぎ, 再使用する場合には洗濯をすること。 P302 + P352 - 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。 P333 + P313 - 皮膚刺激又は発しん(疹)が 生じた場合: 医師の診察又は手当てを受けること。
	Gas Clean Filter Moisture	P308 + P313 - ばく露又はばく露の懸念が ある場合: 医師の診察又は手当てを受けること。
保管	: Gas Clean Filter Oxygen	P405 - 施錠して保管すること。 P403 + P233 - 換気の良い場所で保管する こと。容器を密閉しておくこ と。
	Gas Clean Filter Moisture	P405 - 施錠して保管すること。
廃棄	: Gas Clean Filter Oxygen	P501 - 内容物及び容器を市町村条例、都道府県条例、国内法令及び国際条約の規定に従って廃棄すること。
	Gas Clean Filter Moisture	P501 - 内容物及び容器を市町村条例、都道府県条例、国内法令及び国際条約の規定に従って廃棄すること。
補足的なラベル要素	: Gas Clean Filter Oxygen	認知済みのものは無し。
	Gas Clean Filter Moisture	認知済みのものは無し。
その他の危険有害性	: Gas Clean Filter Oxygen	認知済みのものは無し。
	Gas Clean Filter Moisture	認知済みのものは無し。

3. 組成及び成分情報

この商品は、適切な条件下で、使用上の指示に従って使用すれば、健康上有害にはなりません。物質または混合物は、商品の中ではカプセル化されています。製品の使用上の指示に従わずに商品を使用したり処理したりした結果放出された場合にのみ、健康上および安全上有害になる可能性があります。

化学物質・混合物の区分 : Gas Clean Filter Oxygen 混合物（商品内でカプセル化）
Gas Clean Filter Moisture 混合物（商品内でカプセル化）

CAS 番号／他の特定名

化学名又は一般名	%	CAS登録番号	官報公示整理番号	
			化審法	労働安全衛生法
Gas Clean Filter Oxygen				
酸化アルミニウム	≥80 - ≤90	1344-28-1	1-23	(1)-23
酸化銅(II)、活性化	≤10	1317-38-0	1-297	1-297
二酸化マンガン	≤10	1313-13-9	1-475	(1)-475
酸化ニッケル	≤10	1313-99-1	1-517	(1)-517
Gas Clean Filter Moisture				
結晶質-石英	≤10	14808-60-7	1-548	(1)-548
クリストバライト	≤10	14464-46-1	1-548	(1)-548

4. 応急措置

吸入した場合 : Gas Clean Filter Oxygen
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。 呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。 医師の診断を受ける。 必要に応じて医師に連絡する。 意識がない場合、昏睡位（うつ伏せで顔をやや横向き）にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

Gas Clean Filter Moisture
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。 医師の診断を受ける。 意識がない場合、昏睡位（うつ伏せで顔をやや横向き）にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

皮膚に付着した場合 : Gas Clean Filter Oxygen
多量の水と石鹸で洗うこと。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。 少なくとも10分間洗い流し続ける。 医師の診断を受ける。 必要に応じて医師に連絡する。 何らかの不快感や症状があるときはそれ以上の暴露を避ける。 衣類は、再着用の前に洗濯する。 靴は再使用前に十分に洗浄する。

Gas Clean Filter Moisture
多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。 少なくとも10分間洗い流し続ける。 医師の診断を受ける。 衣類は、再着用の前に洗濯する。 靴は再使用前に十分に洗浄する。

眼に入った場合 : Gas Clean Filter Oxygen
すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 少なくとも10分間洗い流し続ける。 医師の診断を受ける。 必要に応じて医師に連絡する。

Gas Clean Filter Moisture
すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 少なくとも10分間洗い流し続ける。 医師の診断を受ける。

4. 応急措置

飲み込んだ場合 : Gas Clean Filter Oxygen
水で口を洗浄する。 入歯をしている場合ははずす。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。 医師の診断を受ける。 必要に応じて医師に連絡する。 意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。 意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

Gas Clean Filter Moisture
水で口を洗浄する。 入歯をしている場合ははずす。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。 医師の診断を受ける。 意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。 意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

予想される急性健康影響

吸入した場合 : Gas Clean Filter Oxygen
吸入すると、単回暴露で臓器に障害を引き起こすおそれがある。 呼吸器への刺激のおそれ

Gas Clean Filter Moisture
重大な作用や危険有害性は知られていない。

皮膚に付着した場合 : Gas Clean Filter Oxygen
皮膚に接触すると、単回暴露で臓器に障害を引き起こすおそれがある。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

Gas Clean Filter Moisture
重大な作用や危険有害性は知られていない。

眼に入った場合 : Gas Clean Filter Oxygen
重大な作用や危険有害性は知られていない。
Gas Clean Filter Moisture
重大な作用や危険有害性は知られていない。

飲み込んだ場合 : Gas Clean Filter Oxygen
飲み込むと、単回暴露で臓器に障害を引き起こすおそれがある。

Gas Clean Filter Moisture
重大な作用や危険有害性は知られていない。

過剰にばく露した場合の徴候症状

吸入した場合 : Gas Clean Filter Oxygen
有害症状には以下の症状が含まれる:
気道刺激性
咳

Gas Clean Filter Moisture
特にデータは無い。

皮膚に付着した場合 : Gas Clean Filter Oxygen
有害症状には以下の症状が含まれる:
刺激
充血

Gas Clean Filter Moisture
特にデータは無い。

眼に入った場合 : Gas Clean Filter Oxygen
特にデータは無い。
Gas Clean Filter Moisture
特にデータは無い。

飲み込んだ場合 : Gas Clean Filter Oxygen
特にデータは無い。
Gas Clean Filter Moisture
特にデータは無い。

応急処置をする者の保護 : Gas Clean Filter Oxygen
人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。 汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。

Gas Clean Filter Moisture
人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。 汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。

4. 応急措置

医師に対する特別な注意事項	: Gas Clean Filter Oxygen	症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。
	Gas Clean Filter Moisture	症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: Gas Clean Filter Oxygen	火災に応じた消火剤を使用する。
	Gas Clean Filter Moisture	火災に応じた消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	: Gas Clean Filter Oxygen	認知済みのものは無し。
	Gas Clean Filter Moisture	認知済みのものは無し。
特有の危険有害性	: Gas Clean Filter Oxygen	本製品は水生生物に対して有毒であり、長期にわたり持続する影響を有する。 本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。
	Gas Clean Filter Moisture	特定の火災爆発の危険有害性はない。
有害な熱分解生成物	: Gas Clean Filter Oxygen	分解生成物には以下の物質が含まれることがある: 金属酸化物
	Gas Clean Filter Moisture	分解生成物には以下の物質が含まれることがある: 金属酸化物
特有の消火方法	: Gas Clean Filter Oxygen	火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
	Gas Clean Filter Moisture	火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	: Gas Clean Filter Oxygen	消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。
	Gas Clean Filter Moisture	消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について	: Gas Clean Filter Oxygen	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 十分な換気を行う。 換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。 適切な個人保護装置を着用する。
	Gas Clean Filter Moisture	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 十分な換気を行う。 換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。 適切な個人保護装置を着用する。
緊急時対応要員について	: Gas Clean Filter Oxygen	流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。
	Gas Clean Filter Moisture	流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

6. 漏出時の措置

環境に対する注意事項 : Gas Clean Filter Oxygen

漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。 水質汚染物質である。 大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。 漏出物を回収すること。

Gas Clean Filter Moisture

漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : Gas Clean Filter Oxygen

漏出区域から容器を移動する。 粉塵の発生を避けること。 乾燥状態で掃かないこと。 粉塵をHEPAフィルター付きの器具で吸い取り、ラベルが貼られた密栓付きの廃棄物用容器に入れること。 漏洩物は指定された、ラベルの貼られた廃棄物用容器に入れること。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

Gas Clean Filter Moisture

漏出区域から容器を移動する。 粉塵の発生を避けること。 乾燥状態で掃かないこと。 粉塵をHEPAフィルター付きの器具で吸い取り、ラベルが貼られた密栓付きの廃棄物用容器に入れること。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項 : Gas Clean Filter Oxygen

適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。 皮膚感作障害の病歴を持つ人を、本製剤が使用されるいかなる工程にも就業させてはならない。 暴露を避けること－使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 眼、皮膚および衣類に触れないようにする。 摂取してはならない。 環境への放出を避けること。 換気が十分な場所でのみ使用する。 換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。 使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。 容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある 容器を再利用してはならない。

Gas Clean Filter Moisture

適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。 暴露を避けること－使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 眼、皮膚および衣類に触れないようにする。 摂取してはならない。 当物質の通常の取り扱い中に呼吸器官への有害危険性が存在する場合は、必ず適切な換気装置を使用するか、あるいは適切な呼吸用保護具を着用する。 使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。 容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある 容器を再利用してはならない。

衛生対策 : Gas Clean Filter Oxygen

本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

Gas Clean Filter Moisture

本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件 : Gas Clean Filter Oxygen

現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 施錠して保管すること。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

Gas Clean Filter Moisture	現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 施錠して保管すること。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

この商品に含まれる有害な成分はカプセル化されているため、吸い込む、飲み込む、皮膚への付着、目に入るなどによる暴露のリスクは、最小限に抑えられています。

設備対策 : 換気が十分な場所でのみ使用する。 ユーザーの作業により粉塵、ヒューム、ガス、蒸気またはミストが発生する場合は、作業行程の囲い込み、局所的排気通風装置あるいはその他の技術的制御により、作業者の空中に浮遊している汚染物質への暴露を全ての推奨値あるいは法定限度以下に保つこと。

ばく露限界

化学名又は一般名	ばく露限界値
Gas Clean Filter Oxygen 酸化アルミニウム	**日本産業衛生学会 (日本、5/2020)。** OEL-M: 0.5 mg/m³ 8 時間。 形状: 吸入性粉塵 (第 1 種粉塵) OEL-M: 2 mg/m³ 8 時間。 形状: 総粉塵 (第 1 種粉塵)
二酸化マンガン	**日本産業衛生学会 (日本、5/2020)。** OEL-M: 0.2 mg/m³、(Mnとして) 8 時間。 **労働安全衛生法 (日本、6/2020)。** 管理濃度: 0.05 mg/m³、(マンガンとして) 8 時間。
酸化ニッケル	**日本産業衛生学会 (日本、5/2020)。** OEL-M: 0.1 mg/m³、(Niとして) 8 時間。 形状: 総 粉 塵 **労働安全衛生法 (日本、6/2020)。** 管理濃度: 0.1 mg/m³、(ニッケルとして) 8 時間。
Gas Clean Filter Moisture 結晶質-石英	**日本産業衛生学会 (日本、5/2020)。** OEL-C: 0.03 mg/m³ 形状: 吸入性粉塵
クリストバライト	**日本産業衛生学会 (日本、5/2020)。** OEL-C: 0.03 mg/m³ 形状: 吸入性粉塵

保護具

呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。 手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。 あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。 いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。

眼、顔面の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。

この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

外観

物理状態	: Gas Clean Filter Oxygen	固体 [顆粒状固体。]
	Gas Clean Filter Moisture	固体 [顆粒状固体。]
色	: Gas Clean Filter Oxygen	茶色。 [暗色]
	Gas Clean Filter Moisture	黄褐色。
臭い	: Gas Clean Filter Oxygen	情報なし。
	Gas Clean Filter Moisture	情報なし。
臭いのしきい値	: Gas Clean Filter Oxygen	情報なし。
	Gas Clean Filter Moisture	情報なし。
pH	: Gas Clean Filter Oxygen	情報なし。
	Gas Clean Filter Moisture	情報なし。
融点／凝固点	: Gas Clean Filter Oxygen	情報なし。
	Gas Clean Filter Moisture	情報なし。
沸点又は初留点及び沸点範囲	: Gas Clean Filter Oxygen	情報なし。
	Gas Clean Filter Moisture	情報なし。
引火点	: Gas Clean Filter Oxygen	該当しない
	Gas Clean Filter Moisture	密閉式: >535℃ (>995℉)
燃焼点	: Gas Clean Filter Oxygen	情報なし。
	Gas Clean Filter Moisture	情報なし。
蒸発速度	: Gas Clean Filter Oxygen	情報なし。
	Gas Clean Filter Moisture	情報なし。
可燃性	: Gas Clean Filter Oxygen	情報なし。
	Gas Clean Filter Moisture	情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: Gas Clean Filter Oxygen	該当しない
	Gas Clean Filter Moisture	該当しない
蒸気圧	: Gas Clean Filter Oxygen	情報なし。
	Gas Clean Filter Moisture	情報なし。
相対ガス密度	: Gas Clean Filter Oxygen	該当しない
	Gas Clean Filter Moisture	該当しない
相対密度	: Gas Clean Filter Oxygen	情報なし。
	Gas Clean Filter Moisture	情報なし。
溶解度	: Gas Clean Filter Oxygen	以下の物質に不溶性: 冷水 および 温水。
	Gas Clean Filter Moisture	以下の物質に不溶性: 冷水 および 温水。
n-オクタノール／水分配係数	: Gas Clean Filter Oxygen	該当しない
	Gas Clean Filter Moisture	該当しない
自然発火点	: Gas Clean Filter Oxygen	該当しない
	Gas Clean Filter Moisture	該当しない
分解温度	: Gas Clean Filter Oxygen	情報なし。
	Gas Clean Filter Moisture	情報なし。
粘度	: Gas Clean Filter Oxygen	該当しない
	Gas Clean Filter Moisture	該当しない

粒子特性

中央粒径値	: Gas Clean Filter Oxygen	情報なし。
	Gas Clean Filter Moisture	情報なし。

その他のデータ

追加情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	: Gas Clean Filter Oxygen	この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
	Gas Clean Filter Moisture	この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	: Gas Clean Filter Oxygen	製品は安定である。
	Gas Clean Filter Moisture	製品は安定である。

10. 安定性及び反応性

危険有害反応可能性 : Gas Clean Filter Oxygen 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
Gas Clean Filter Moisture 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : Gas Clean Filter Oxygen 特にデータは無い。
Gas Clean Filter Moisture 特にデータは無い。

混触危険物質 : Gas Clean Filter Oxygen 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。
Gas Clean Filter Moisture 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。

危険有害な分解生成物 : Gas Clean Filter Oxygen 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。
Gas Clean Filter Moisture 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	ばく露時間
Gas Clean Filter Oxygen				
酸化アルミニウム	LD50 経口	ラット	>10000 mg/kg	-
酸化銅(II)、活性化	LD50 経皮	ラット - オス、メス	>2000 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	470 mg/kg	-
二酸化マンガン	LD50 経口	ラット	3478 mg/kg	-
酸化ニッケル	LC50 吸入した場合 微塵および噴霧	ラット - オス、メス	>5.08 mg/l	4 時間

急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (気体) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (粉じん／ミスト) (mg/l)
Gas Clean Filter Oxygen					
酸化銅(II)、活性化	N/A	2500	N/A	N/A	N/A
二酸化マンガン	3478	N/A	N/A	N/A	N/A

刺激性/腐食性

情報なし。

呼吸器感作/皮膚感作

情報なし。

結論/要約

皮膚 : **Gas Clean Filter Oxygen**: 皮膚と接触すると感作を引き起こすことがある。

生殖細胞変異原性

情報なし。

発がん性

情報なし。

生殖毒性

情報なし。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	カテゴリー	暴露経路	標的器官
Gas Clean Filter Oxygen			
酸化アルミニウム	区分3	-	気道刺激性
酸化銅(II)、活性化	区分1	-	全身毒性
	区分3		気道刺激性
二酸化マンガン	区分1	-	呼吸器系

特定標的臓器毒性、反復ばく露

11. 有害性情報

名称	カテゴリー	暴露経路	標的器官
Gas Clean Filter Oxygen			
酸化アルミニウム	区分1	吸入した場合	肺
二酸化マンガン	区分1	-	神経系、呼吸器系
酸化ニッケル	区分1	-	呼吸器系
Gas Clean Filter Moisture			
結晶質-石英	区分1	-	免疫系、腎臓、呼吸器系
クリストバライト	区分1	-	呼吸器系

誤えん有害性

情報なし。

その他の情報 : Gas Clean Filter Oxygen 有害症状には以下の症状が含まれる: 皮膚感作を起こすことがある。

Gas Clean Filter Moisture 情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	ばく露時間
Gas Clean Filter Oxygen			
酸化アルミニウム	急性 EC50 114.357 mg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	48 時間
酸化銅(II)、活性化	急性 LC50 2.6 mg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	48 時間
二酸化マンガン	急性 LC50 >56000 ppm 真水	魚類 - Gambusia affinis - 成体	96 時間
	急性 EC50 >100 mg/l 真水	藻類 - Desmodesmus subspicatus	72 時間
	急性 EC50 >100 mg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna	48 時間
	急性 LC50 >100 mg/l 真水	魚類 - Oncorhynchus mykiss	96 時間
	急性 NOEC >100 mg/l 真水	魚類 - Oncorhynchus mykiss	96 時間
	慢性 NOEC 10 mg/l 真水	ミジンコ類 - Ceriodaphnia dubia	8 日

残留性・分解性

情報なし。

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	$LogP_{ow}$	BCF	可能性
Gas Clean Filter Oxygen			
酸化ニッケル	-	5613	高

土壌中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

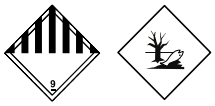
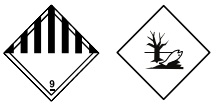
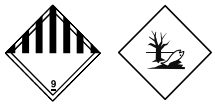
他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

この安全性データシートは、この商品に含まれるカプセル化された物質または混合物に基づいて記述されています。この商品に含まれる有害な成分はカプセル化されているため、吸い込む、飲み込む、皮膚への付着、目に入るなどによる暴露のリスクは、最小限に抑えられています。

	UN	IMDG	IATA
UN番号	UN3077	UN3077	UN3077
品名	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (酸化銅(II)、活性化)	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (酸化銅(II)、活性化)	Environmentally hazardous substance, solid, n.o.s. (酸化銅(II)、活性化)
国連分類 クラス	9 	9 	9 
容器等級	III	III	III
環境有害性	はい。	はい。	はい。

追加情報

UN : 本製品は5 L以下の容量、又は5 kg以下の重量で輸送される場合に、規制下で危険物と見なされないが、梱包が一般規定4.1.1.1、4.1.1.2および4.1.1.4～4.1.1.8を満たす場合に限る。
特別条項 274, 331, 335, 375

IMDG : 本製品は5 L以下の容量、又は5 kg以下の重量で輸送される場合に、規制下で危険物と見なされないが、梱包が一般規定4.1.1.1、4.1.1.2および4.1.1.4～4.1.1.8を満たす場合に限る。
緊急時スケジュール F-A, S-F
特別条項 274, 335, 966, 967, 969

IATA : 本製品は5 L以下の容量、又は5 kg以下の重量で輸送される場合に、規制下で危険物と見なされないが、梱包が一般規定5.0.2.4.1、5.0.2.6.1.1および5.0.2.8を満たす場合に限る。
数量制限 旅客および貨物輸送機: 400 kg。梱包に関する指示: 956。 貨物専用輸送機: 400 kg。梱包に関する指示: 956。 数量制限ー旅客機: 30 kg。梱包に関する指示: Y956。
特別条項 A97, A158, A179, A197, A215

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送**: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

非該当

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	状況	政令番号
Gas Clean Filter Moisture 結晶質シリカ	該当	165-2

名称等を通知すべき危険物及び有害物

15. 適用法令

化学名又は一般名	状況	政令番号
Gas Clean Filter Oxygen		
酸化アルミニウム	該当	189
銅及びその化合物	該当	379
マンガン及びその無機化合物	該当	550
ニッケル及びその化合物	該当	418
Gas Clean Filter Moisture		
結晶質シリカ	該当	165-2

化学物質審査規制法

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

化学名又は一般名	%	状況	政令番号
Gas Clean Filter Oxygen			
マンガン及びその化合物	5.4	第一種	412
ニッケル化合物	0.31	特定第一種	309

日本産業衛生学会 発がん性物質 : 第1群

海洋汚染防止法 : 海洋汚染物質: 海洋汚染物質

道路法 : 該当

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2021/11/09

前作成日 : 未確認

バージョン : 1

略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA = 国際航空輸送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。(″Marpol″ = 海洋汚染)
N/A = データなし
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
Gas Clean Filter Oxygen	
皮膚感作性 - 区分1	算出方法
生殖細胞変異原性 - 区分2	算出方法
発がん性 - 区分1A	算出方法
特定標的臓器毒性(単回ばく露) - 区分2	算出方法
特定標的臓器毒性(単回ばく露)(気道刺激性) - 区分3	算出方法
特定標的臓器毒性(反復ばく露) - 区分1	算出方法
水生環境有害性 短期(急性) - 区分2	算出方法
水生環境有害性 長期(慢性) - 区分2	算出方法
Gas Clean Filter Moisture	
生殖細胞変異原性 - 区分2	算出方法
発がん性 - 区分1A	算出方法

16. その他の情報

特定標的臓器毒性(反復ばく露) - 区分2	算出方法

参照 : 情報なし。

◤ **前バージョンから変更された情報を指摘する。**

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。